



樹氷（大山）

撮影 徳田名誉院長

シリーズ 『新手術室』

第4回は、外科 西川 仁士 医師より、
「呼吸器疾患におけるダヴィンチ手術」について
ご紹介いたします。

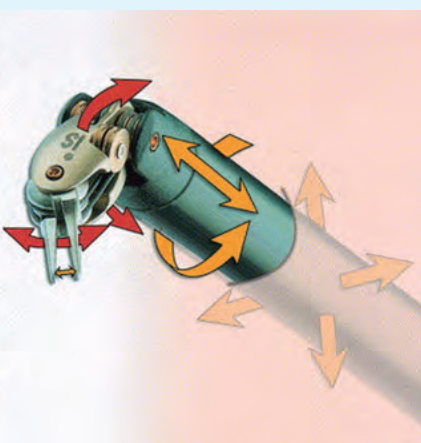
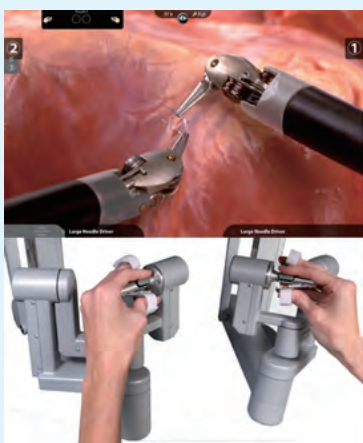
第4回 呼吸器疾患に対するダヴィンチ手術

津山中央病院外科では、このたび、ダヴィンチロボット支援手術に対応した新手術室が造設されたのを機に、肺がんならびに縦隔腫瘍に対して、ダヴィンチ X を用いたロボット支援手術を導入し、外科医師、看護師、医療工学技士等でチームを結成、トレーニングを重ね、岡山市内では岡山大学病院に次いで2施設目、県北では初となる実臨床での運用を開始しました。



ロボット支援手術の利点

1. 従来の胸腔鏡手術（VATS）と比較して遜色のない低侵襲性により、患者さんの疼痛軽減や早期回復、早期退院を実現できています。
2. それに加えて、双眼鏡での3D画像と、多関節を有する鉗子の使用で、手術手技の正確性と高い操作性、さらに悪性腫瘍などに対する根治性の確保が可能になります。特に胸腔内での多関節の存在は、自然な方向での剥離・縫合操作を可能にします。これは人間の手で行う従来のVATSにおける直線的な器具での操作と比較して大きな利点です。血管や気管支、肺実質などの縫合操作や、血管切離、葉間のトンネリングなどはVATSでは角度的に困難なことが多いですが、ロボット支援手術では思いのままの角度から容易かつ安全に行い得ます。
3. また、手振れがないことから、呼吸器手術においては特に繊細な操作が求められる血管鞘や気管支鞘の剥離などでは威力を発揮します。



左上：3D画像

左下：手振れ防止機能の
ついた操作部

右：多関節を有する鉗子

人間の手で行う従来のVATSの技術はほぼ限界にきており、これ以上の大きな発展は望めないと考えられていますが、ロボット支援手術はこれからのロボット工学の発展により、永遠に発展する可能性を持っており、今後が期待されます。

ロボット支援手術の課題

1. ロボット支援手術の最大の欠点は、触覚がないことです。組織の硬い軟らかい、牽引の強い弱い、映像視野から外れたアームの関節が胸壁に接触している、などがわかりにくいことがあります。しかし、3D で鮮明な視野が得られるため、そうした欠点のかかなりの部分を視覚によって補うことも可能であると考えています。また、現在は触覚のあるロボットシステムも開発されており、今後の発展が期待されます。
2. ロボット支援呼吸器手術において最も心配されることは出血時の緊急対応についてですが、当院ではチームでの緊急時シミュレーションを重ね、止血・緊急開胸操作、ロボットアーム、カートの緊急離脱などをスムーズに行えるよう役割分担を決めて準備をしています。データによると、こうした準備により VATS と同様に安全に対処できると考えられています。
3. 手術器具のコストがかさむことは、患者さんに負担をかけることはありませんが、手術施行病院としては課題となります。今後、ロボット支援手術の件数が増加すればコストパフォーマンスも向上し、器具のコスト自体も下がるかもしれません。



手術実施風景

地域の患者さんがわざわざ県南の大病院に行かなくても、近くの当院で最先端の治療が受けられると思っていただけるような環境を提供できるよう、今後も研鑽を積んでまいります。地域の連携施設からの多くの患者さんのご紹介をお願い致します。また、呼吸器ダヴィンチ手術をご希望の方、ご興味をお持ちの方は、当院へお問い合わせください。



津山中央病院 外科 部長
ダヴィンチ コンソールサージョン
西川 仁士

2020 年 3 月の診療日変更のお知らせ

平素より、病院運営に対しましてご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、津山中央病院、津山中央記念病院、津山中央クリニックは、下記のように 2020 年 3 月の診療日を変更させていただきます。

患者さん、地域の医療機関の皆様にはご迷惑をおかけしますが、何卒ご了承ください。

○津山中央病院、津山中央記念病院、津山中央クリニックは

2020 年 3 月 14 日（第 2 土曜日）を診療日とし、

3 月 21 日（第 3 土曜日）を休診日といたします。

○津山中央病院は 2018 年 10 月より土曜日の診療を休診しておりますが、
健診等一部業務は行っております。

○津山中央病院 救急外来は毎日 24 時間行っております。

3 月 13 日（金）	3 月 14 日（土）	3 月 15 日（日）
診療日	診療日 （中央は一部診療）	休診日
3 月 20 日（金）	3 月 21 日（土）	3 月 22 日（日）
春分の日 休診日	休診日	休診日

※津山中央病院 救急外来は毎日 24 時間行っております

津山警察署と津山中央病院は災害時における ヘリポート使用に関する連携協定を締結しました

災害時における警察の対応能力向上、患者搬送や物資運搬の円滑化などを目的とし、令和2年1月15日（水）、津山警察署と津山中央病院は病院ヘリポート使用に関する協定を締結いたしました。

津山警察署 神田泰治署長、岡山県警察本部警備課災害担当補佐 河本博倫様、津山警察署地域課 小川浩一課長が来院され、津山中央病院 林同輔病院長、津山慈風会 藤木茂篤理事長、居森英行常務理事が出席し、調印式を行いました。今後、災害等発生時には県警ヘリコプター「わしゅう」の受け入れも行なってまいります。

これからも、津山中央病院は災害拠点病院として、地域の医療機関ならびに関係機関と連携し、その役割を果たしていくように努めてまいります。



法人本部 人事総務グループ
部長 赤木 陽介

外来診療担当医の変更について

今月は津山中央病院に変更がございます。

診療担当医表については、ホームページ (<http://www.tch.or.jp>) でもご覧いただけます。

研究会、教室のご案内

■美作地区胸腹部画像診断研究会

日時／通常毎月第4金曜日 19:00～(8・12月を除く)

場所／津山中央病院 医療研修センター 2階講義室

※変更がある場合がございますので、詳細はお問合わせ下さい



■津山中央記念病院 糖尿病教室

日時／毎週火・水曜日 13:30～(30～60分程度)

場所／津山中央記念病院 2階会議室

■津山中央病院 糖尿病教室

日時／毎週月曜日 13:30～14:30

場所／津山中央病院 N館3階
ダイコーナー

■津山中央病院 心不全教室

日時／毎週水曜日 13:00～14:00

場所／津山中央病院 N館5階病棟 ダイコーナー

CC セミナー (地域連携セミナー)・研修会のご案内 (2～3月)

当院では、地域連携セミナーとして、CCセミナーを開催しています。
地域の医療従事者の方に自由にご参加いただけます。

●周産期医療従事者研修会

日時:2020年2月27日(木) 18:00～19:00

講師:岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 産科・婦人科学教室 助教 牧 尉太 先生

場所:健康管理センター3階 慈風会記念ホール

●臓器提供研修会

日本専門医機構専門医共通講習

日時:2020年3月2日(月) 18:00～19:00

講師:聖隷浜松病院 救急科部長 救命救急センター長 渥美 生弘 先生

場所:健康管理センター3階 慈風会記念ホール

●川崎医科大学救急総合診療医学講座

第38回 救急・総合診療医学のための教育セミナー in 津山

「救急でよく診る消化器疾患のエコー診断」

日時:2020年3月26日(木) 18:00～19:15

講師:川崎医科大学総合医療センター 中央検査科 部長 眞部 紀明 先生

場所:健康管理センター3階 慈風会記念ホール

私たち津山慈風会は、
地域の皆さんに
やさしく寄り添います

津山中央病院 地域連携室
〒708-0841 津山市川崎 1756
TEL 0868-21-8111 FAX 0868-21-8201
メール tcmn@tch.or.jp
HP <http://www.tch.or.jp>